

2018 山で事故を起こさないためのハイキング教室

第3回目「セルフレスキュー講座」を開催

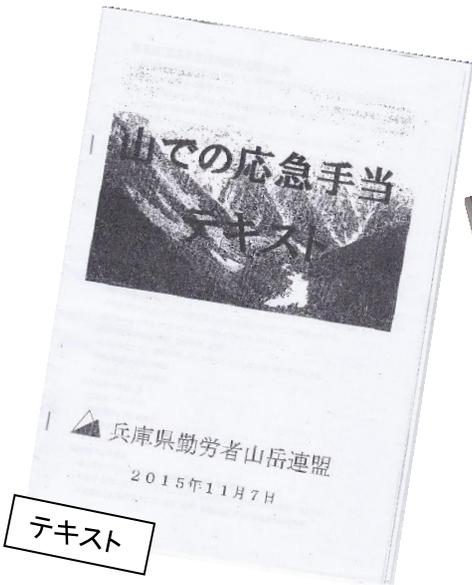
座学:2018年11月10日(土)

実技:2018年11月17日(土)

11/10 座学

受講生:一般3人、会員4人、講師・スタッフ 7人

<会場>宝塚市立東公民館



テキスト



今回は事故時の「応急手当の方法」と「事故事例に学ぶ」をテーマにして行った。



三角巾の使い方を実習しているところ。



11/17 実技

受講生:一般3人、会員3人、講師・スタッフ 8人

<会場> 中山・やすらぎ広場

中山・やすらぎ広場で主に事故者の搬出方法の実技を行った。



清荒神駅前集合し、やすらぎ広場を目指して参道を進む



大林寺の先の急登を登る。やすらぎ広場近くではカエデが綺麗に紅葉していた。



一人で事故者を安全な場所に移動させる方法



今度は二人で行う方法



ザックを連結して簡易担架を作って事故者を搬送する



ストックと細引きを使った簡易担架



ザックを使った担ぎ搬送法その1。昔からあるやり方だが簡単で誰でもがやりやすい



ザックを使った担ぎ搬送法その2。雨合羽で事故者を包んでザックに固定するやり方であるが、雨合羽の位置調整が少し難しい



ストックで松葉杖を作る山では足の怪我の程度や登山路の状態など、利用できる範囲に限られる



搬送途中で担ぎ手が交代する場合、側面から二人の介助者の協力を得れば簡単に交代できる。

午後からは実際に山で事故が発生し、事故者を搬出するというシミュレーションで、二班に分かれて搬送の実技を行った



1班は膝を骨折したという想定で、骨折部位に副木をあてる応急手当を行い、担ぎ搬送を行った。



2班は骨折部位の関係で担ぎ搬送ができないとして、木の枝と細引きを利用した簡易担架を作り搬送した。

2018年「山で事故を起こさないためのハイキング教室」は3回シリーズで行い、今回で終了となった。学んだことをしっかり修得して、山で事故を起こさない、万が一事故が起きても適切に判断し、行動できるようにしよう。